

3 日本の天気について、次の問いに答えなさい。

(1) 図1、図2は、それぞれある時期によく見られる特徴的な天気図である。これについて次の各問いに答えなさい。

① 図1のような、この時期によく見られる特徴的な気圧配置を何というか。名称を漢字4字で答えなさい。

② 図1のような気圧配置になる時期は、大陸から北西の季節風がふくことが多い。次のうち、このような季節風がふく理由を説明したものとして最も適当なものはどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア この時期には、海上の方が陸上よりも気温が低くなって、海上に上昇気流が発生するため。

イ この時期には、海上の方が陸上よりも気温が低くなって、海上に下降気流が発生するため。

ウ この時期には、陸上の方が海上よりも気温が低くなって、陸上に上昇気流が発生するため。

エ この時期には、陸上の方が海上よりも気温が低くなって、陸上に下降気流が発生するため。

③ 次の文は、図2のXの前線と図2のような天気図が見られる時期の天気について説明したものである。文中の| |にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

この時期の日本列島では、北側にある冷たく_a|ア 乾燥した イ 湿った|気団と、南側にあるあたたかく_b|ア 乾燥した イ 湿った|気団が、ほぼ同じ勢力でぶつかり合う。そのため、Xの_c|ア 停滞 イ 閉そく|前線ができ、雨やくもりの日が多くなる。

(2) 図3は、台風の月別のおもな進路を矢印で表したものである。これについて次の各問いに答えなさい。

① 7月から9月に発生した台風は、おもに最初は西寄りに進み、その後、進路を変えて東寄りに進む傾向がある。このように進む原因の1つである、中緯度帯の上空を1年中ふく風を何というか。名称を答えなさい。

② 次の文は、台風が図3のように進む理由について説明したものである。文中の| |にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

図3より、台風は7月から9月にかけて、次第に日本列島に上陸する進路になることがわかる。これは、台風が_a|ア 小笠原 イ シベリア|気団のふちに沿って進んでおり、その気団の勢力が8月から9月にかけて次第に_b|ア 発達する イ おとろえる|からである。

図1

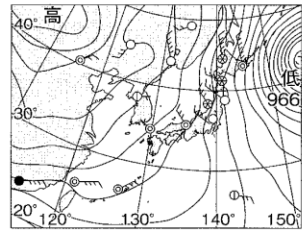


図2

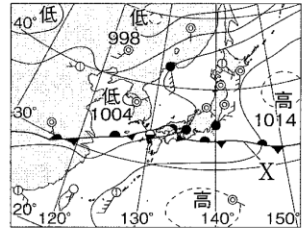
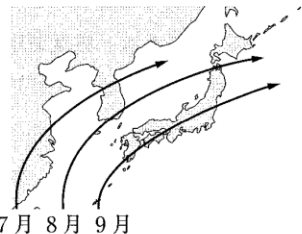


図3



(1)① 冬はシベリア高気圧が発達し、南北にのびる等圧線が密に並んだ、西側の気圧が高く東側の気圧が低い、西高東低の気圧配置になる。

② 陸は海よりもあたたまりやすく冷えやすいため、冬は陸上の方が海上よりも気温が低くなる。気温が低くなると空気は密度が大きくなって下降し、陸上の気圧が高くなるので、大陸から海洋に向かって北西の季節風がふく。

③ 北のオホーツク海気団と南の小笠原気団の勢力がぶつかり合い、梅雨前線ができる。

(2)② 発達していた小笠原気団の勢力が8月から9月にかけて次第におとろえると、台風の進路は南下していき、日本列島に上陸する進路になることが多くなる。

(1)	①	西 高 東 低 漢字4字指定			
	②	エ			
(2)	①	偏西風 へんせいふう			
	②	a	ア	b	イ